

2023年11月14日
株式会社商船三井
九州電力株式会社

LNG燃料パナマックス型石炭専用船「^{れいめい}苓明」の運航を開始しました

株式会社商船三井（以下「商船三井」）と九州電力株式会社（以下「九州電力」）が建造を進めていた環境負荷の低いLNGを主燃料とするパナマックス型石炭専用船（以下「本船」）が本日竣工し、運航を開始しました。

同日、株式会社名村造船所（大阪府大阪市、代表取締役社長：名村建介）の伊万里事業所にて命名竣工式を行い、本船を「苓明^{※1}」と命名しております。



LNG燃料パナマックス型石炭専用船「苓明」

本船は、LNGを燃料とする大型石炭専用船で、商船三井が運航を行い、九州電力の石炭火力発電所向けに海外から石炭を輸送します。

LNGは従来の船舶燃料油に比べて、温室効果ガスである二酸化炭素（CO₂）は約30%、硫黄酸化物（SO_x）は約100%、窒素酸化物（NO_x）は約80%の排出削減が見込まれます。

本船は11月14日に佐賀県の伊万里港を出港後、11月15日に福岡県の戸畑港で陸上のLNG出荷設備から本船へ直接燃料を供給するShore to Shipでのバンカリングを実施予定です。

本船ではこのShore to Shipに加え、今後LNGバンカリング船によるShip to ShipでのLNGバンカリングも想定しております。

商船三井と九州電力は今後も、安定した燃料輸送の継続と環境負荷の低減の両立に向けて積極的に取り組んでまいります。

- ※1 九州電力苓北発電所（石炭火力）の「苓北」と「夜明け」を表す「黎明」に由来。安全航行を始め、輸送船の未来を明るく照らしていくようにという願いを込めている。
- ※2 商船三井と九州電力間での本船の輸送契約に関する基本協定書の締結については、2019年12月25日お知らせ済。

＜本船概要＞

船名 : 苓明

運航会社 : 株式会社商船三井

全長 : 234.92メートル

全幅 : 38.0メートル

載貨重量トン数 : 95,792トン

建造年 : 2023年

造船所 : 株式会社名村造船所

船籍 : リベリア共和国

＜会社概要＞

会社名	九州電力株式会社	株式会社商船三井
代表取締役社長	池辺 和弘	橋本 剛
本社所在地	福岡市中央区 渡辺通二丁目1番82号	東京都港区 虎ノ門二丁目1番1号

以 上